

く と さん 倶登山川氾濫に伴う今後の対応策

町長 道に対して強く対応策を要望していく

山田 7月上旬の豪雨災害により

倶登山川が氾濫し農作物に被害をもたらした。今後の対応について伺う。

- ①北9線西4号から北8線西5号及び西9号間の農家に聞き取りを行っていたか。
- ②上流河川への土砂流入等の被害をどこまで把握しているか。
- ③河川両脇の雑木の撤去や川底を下げるための対応をどうするか。
- ④ポイントサン川の合流地点の被害が甚大であり早急の対応が必要である。見解を伺う。

町長 ①洪水被害発生直後から農

林課で現地調査及び農業者から聞き取りを行っている。情報は北海道と共有に努めている。

②大雨等増水の都度、確認作業を行っており、道が管理する部分については情報報告を行っている。

③④河川管理者である道に対し繰り返し要望を行っている。道では今後も計画的に維持作業が実施されるとのことである。

山田 河川敷地を借りている農業

者と協力して道と川底を下げる、あるいは堤防を造るなどの考えはあるか。また土砂流入が下流の川底を上げている要因であり、どのような要望をあげているのか。

①洪水被害発生直後から農

林課で現地調査及び農業者から聞き取りを行っている。情報は北海道と共有に努めている。

②大雨等増水の都度、確認作業を行っており、道が管理する部分については情報報告を行っている。

③④河川管理者である道に対し繰り返し要望を行っている。道では今後も計画的に維持作業が実施されるとのことである。

山田 ポイントサン

川の合流点の被害が甚大。どのような働きかけをしているか。

町長 本年の春先か

ら天候不順による作物の生育低下は過去に例がない状況。農業生産額は平年の5割から7割程度と推測し12月に支払われる数量払い交付金も大きく下回ることに予想され、農業を基幹産業とする町として営農を継続するための対応策を伺う。

①作物全般が収量低下を余儀なくされる状況。見解を伺う。

②耕作地を引き継ぎ面積を抱える農家に対し、更なる町独自の支援策は。

③次世代の農業者に対する調査すべき時期が来ていると思うが見解を伺う。

④排水対策に対し町独自の助成の上乗せ方策を考

えられないか。

町長 ①馬鈴薯の疫病等予防事業

として必要な経費の支援として補正予算500万円の議決をいただいた。今後どのように支援対策を整えていくか、ようお願いし関係団体とも十分協議していく。

②馬鈴薯、てん菜等の省力作業機械の導入等に対し2分の1以内で助成する国の事業があり、法人化や経営改善を図る形態に整備する取り組みに3割以内、上限300万円

で助成する新事業もあり、農業者には国・道の補助事業を活用していただきたい。

③まちづくり懇談会等で農業者から直接意見を伺

っており、アンケート等協議して進める。

④農業基盤整備促進事業を活用し、排水整備を実施している。

山田 農業者が地域

住民とコミュニケーションをとる、道の駅等農産物を提供するなど引き出しを増やすことは重要であり、町は形を作るべき見解を伺う。

町長 1回ではある

が農業青年と懇談会を開き意見を伺っている。町として倶知安の農業が発展し将来にわたって農業経営をできるように取り組みたい。



山田 勉 議員

町長 今回の農業被害におきま

し

一般質問 山田 勉